

医療法人 盟陽会

# 富谷中央病院

第 5 号 令和3年 10 月発行

〒981-3328

宮城県富谷市上桜木二丁目1番地 6

TEL:022-779-1470(代表)

FAX:022-779-1481(代表)



～地域とのかけはし～



## 病院理念

地域の皆様に安心・信頼をお届けし、親しまれる病院を目指します

## 病院基本方針

1. 地域の皆様に質の高い医療環境を提供します
2. 地域の医療、福祉機関と連携を図り、包括医療の向上に寄与します
3. 職員全員が一体となり、良質な医療を目指し、病院経営の健全化に努めます
4. 職員全員が仕事に誇りを持ち、互いに理解し、協力し合い、働き甲斐のある職場を目指します



きらり  
医療人

## こちら薬剤科です！ 薬剤科長 中西千晶

現在、当院薬剤科では4名の常勤薬剤師が活動しています。各病棟に薬剤師を配置し、164床からなる当院の入院患者様の治療に必要な医薬品供給から服薬指導、医師と協働した薬学的管理を行い、患者様により良い医療を提供出来る様努めています。

～患者様とのやりとり・度々ある編～

「お薬の説明ありがとう。ところでわざわざ外の薬局から説明に来てくれたのかい？」

「……( °д°)」

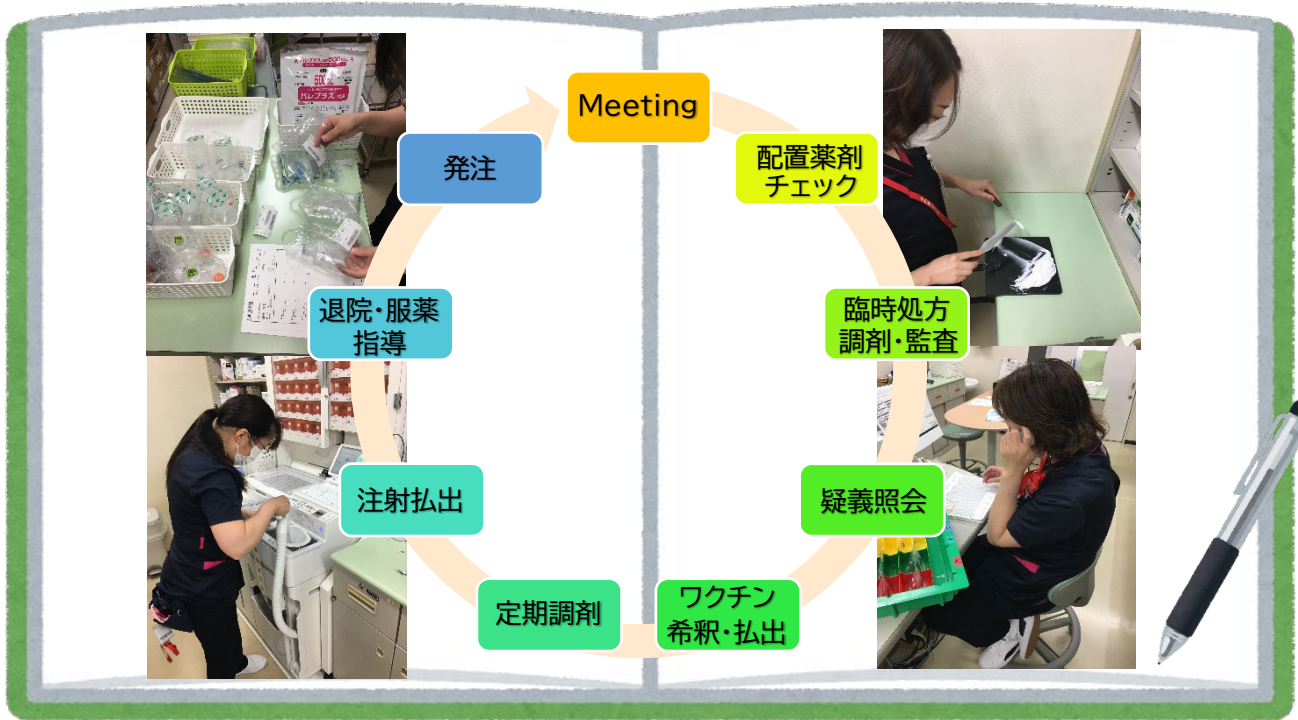
確かに薬剤科は、駐車場側(北側)に配置されており、患者様の目に触れる機会は、服薬指導の時だけかもしれませんね。表立った業務は少ないのですが、持参薬やお薬手帳、退院薬を通して、保険調剤薬局様をはじめとする近隣の関連施設様と情報共有を大事に丁寧に取り組んでいきたいと考えています。



➡ 裏面では「薬剤科の1日」をご紹介します！



# 薬剤科の1日（月曜日編）



教えて！先生

## ドクタートークルー

糖尿病担当  
角川先生編

○今回は角川先生より「コロナ禍に思うこと」についてのお話です。

2020年が明けたときには、まさか世界がこのような状況になるとは予想だにできなかったが、ついにやってきた今回のパンデミックで、やはり人類と感染症との闘いは終わっていないのだ、ということを感じさせられる。COVID-19が落ち着いたとしても、将来、別の感染症が再びパンデミックをもたらすことも容易に想像できる。

海外旅行はおろか、国内旅行も思うようにできないし、個人的には海外に暮らす家族と会えるのはいつになるやら、と思うと寂しいものだ。

この夏は巣ごもりで、休日に出かける先といえば友達とやっている畑（市民農園）だったため、ママに手入れのおかげか、夏野菜の収穫は過去最高の出来となった。

それにしても、入院したあと、家族と直接会えない環境で、人生最後の日々を過ごす患者さんや、そのご家族をみていると、早くこの感染症が収束してくれることを願わずにいられない。

### 編集後記

皆さんは「〇〇の秋」というとどんな言葉を思い浮かべますか？私は食べることが大好きなので「食欲の秋」が一番に浮かびます。昨年同様、食に関するイベントが中止となるが多いため、今年の秋はお取り寄せグルメで美味しい秋の味覚を満喫しようと思います。（熊谷）

#### 【地域医療連携室】

担当医師	渡邊 哲子
相談員	佐々木 澄江
相談員	五十嵐 博志
事務員	熊谷 令奈
看護師	松井 睦子（非常勤）

#### 【連携室直通】

022（779）5191（TEL）  
022（779）5192（FAX）